



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月27日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2021年7月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績 (2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	3,332	59.3	201	△62.1	200	△62.2	129	△63.5
2020年9月期第3四半期	2,092	128.2	530	842.7	530	795.1	355	747.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	10.86	10.37
2020年9月期第3四半期	32.21	29.99

(注) 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2021年9月期第3四半期	10,416	6,733	6,733	6,733	64.4	64.4
2020年9月期	6,173	2,673	2,673	2,662	43.1	43.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 6,707百万円 2020年9月期 2,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,670	44.8	311	△39.0	309	△39.5	205	△44.3	17.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	12,316,700株	2020年9月期	11,667,700株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	64株	2020年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	11,960,170株	2020年9月期3Q	11,037,876株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、新しいものを作り広めたいと思う事業者と、自分の趣味嗜好に合った新しいものに出会いたいと思う消費者をつなぐプラットフォーム「Makuake」を運営しております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、国内外の感染拡大防止策を講じ、ワクチン接種を促進する中、回復の動きが期待されております。しかし、今後の感染症拡大状況の変化による世界的な景気の下振れリスクには十分注意が必要であり、先行きが不透明な状況は今なお続いております。

当社の経営環境は、新商品販売におけるオフラインの新商品デビュー市場及び新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の複数の市場の影響を受けており、新商品や新サービスデビューのEコマース市場は非常に高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、当社は日本社会のDX化を追い風に、従来の商流におけるイノベーションを加速させ、事業者（プロジェクト実行者）が新商品や新サービスを量産前にオンライン上でデビューさせ、テストマーケティング、PRする場を提供することで従来のオフライン中心の商流では生まれづらかった素晴らしい技術やアイデアの商品やサービスを世に生み出すサポートを続けております。

また、消費者（プロジェクトサポーター）には、これまでの消費では体験できなかった、自分の趣味嗜好に合った商品を誰よりも早く手に入れる特別感や事業者（プロジェクト実行者）と直接つながる連帯感、商品が作られるまでのストーリーを知ることで生まれる信頼感及び期待感を味わいながら購入する応援購入という新しい消費の形を提供し、認知を広げております。

当第3四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりオフラインの新商品デビューの場が制限されている中で在庫リスクを抱えず新商品や新サービスをMakuakeでデビューさせることで、量産前に消費者のニーズや購入者のデータを取得することができると同時に初期顧客を確保した上で必要数量だけを生産し、量産フェーズに進むことができるベネフィットに対する認知が広がりプロジェクト掲載開始数が大幅に増加いたしました。また、テレビコマーシャルによりブランド認知度が向上し、テレビ番組への露出が増えたことやWEB及びアプリ広告を強化したことアクセスユニークユーザー数がさらに拡大し、Makuakeにおける応援購入総額が前年同四半期比67.1%増加いたしました。

一方、応援購入総額の成長を最優先とし、プロモーションや人材採用への先行投資を推進する中で、想定を超えるプロジェクト掲載開始数の増加によりキュレーターの業務負担が増えており、キュレーター及び審査法務・モニタリング人材の採用や育成、業務フローの精査並びにオペレーションシステムの開発に課題があると認識いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,332,990千円（前年同四半期比59.3%増）、営業利益は201,096千円（同62.1%減）、経常利益は200,403千円（同62.2%減）、四半期純利益は129,918千円（同63.5%減）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は10,416,999千円となり、前事業年度末と比べ4,243,552千円の増加となりました。

流動資産は3,894,501千円増加し、9,542,339千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が3,758,502千円増加したことによるものであります。

固定資産は338,118千円増加し、851,385千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が181,276千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は3,683,619千円となり、前事業年度末に比べ183,189千円の増加となりました。

流動負債は172,236千円増加し、3,644,329千円となりました。主たる要因は、預り金が643,349千円増加、その他に含まれる未払金が257,471千円減少したことによるものであります。

固定負債は10,953千円増加し、39,289千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が10,840千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は6,733,379千円となり、前事業年度末に比べ4,060,362千円の増加となりました。主たる要因は、海外募集による新株式を発行したこと等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,957,476千

円、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が129,918千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、Makuakeサービスにおける応援購入総額の拡大を最優先に、新商品のオンラインデビュー市場における最大のマーケットプレイスとして地位を確立することを目指し、プロモーションや人材採用を中心とした先行投資を進めております。

2020年10月27日に公開した業績予想は、2020年9月期における業績の急成長後も増加しているプロジェクト掲載を希望する事業者からの引き合いやMakuakeを訪れるアクティブユニークユーザー数の増加、オンラインマーケットプレイスを利用した消費増加の傾向をもとに公開した見通しでしたが、現時点において、業績の成長は続いているものの、計画水準に対して下回る実績であるため、売上高を4,670百万円（前年同期比44.8%増）に修正いたします。また、応援購入総額最大化を図るべく、各種先行投資を引き続き進めるため、営業利益は311百万円（同39.0%減）、経常利益は309百万円（同39.5%減）、当期純利益は205百万円（同44.3%減）に修正いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109,351	8,867,854
売掛金	530,318	507,033
その他	15,164	174,448
貸倒引当金	△6,996	△6,996
流動資産合計	5,647,838	9,542,339
固定資産		
有形固定資産	46,969	46,858
無形固定資産	356,458	537,735
投資その他の資産		
その他	117,376	274,329
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	109,839	266,791
固定資産合計	513,267	851,385
繰延資産	12,340	23,273
資産合計	6,173,446	10,416,999
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	155,480	23,713
預り金	2,345,603	2,988,952
その他	971,008	631,663
流動負債合計	3,472,093	3,644,329
固定負債		
退職給付引当金	-	113
勤続インセンティブ引当金	28,336	39,176
固定負債合計	28,336	39,289
負債合計	3,500,429	3,683,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,847	3,094,323
資本剰余金	1,136,847	3,094,323
利益剰余金	388,949	518,868
自己株式	△115	△357
株主資本合計	2,662,529	6,707,158
新株予約権	10,488	26,220
純資産合計	2,673,017	6,733,379
負債純資産合計	6,173,446	10,416,999

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,092,494	3,332,990
売上原価	373,111	558,716
売上総利益	1,719,383	2,774,273
販売費及び一般管理費	1,188,685	2,573,177
営業利益	530,697	201,096
営業外収益		
講演料等収入	2,950	5,325
その他	211	654
営業外収益合計	3,161	5,980
営業外費用		
支払利息	111	-
株式交付費償却	3,107	6,672
営業外費用合計	3,218	6,672
経常利益	530,640	200,403
税引前四半期純利益	530,640	200,403
法人税、住民税及び事業税	181,546	74,115
法人税等調整額	△6,431	△3,629
法人税等合計	175,114	70,485
四半期純利益	355,525	129,918

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2021年1月22日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行1,000株により、資本金が4,440千円、資本剰余金が4,440千円増加しております。また、2021年2月24日を払込期日とする海外募集に伴う新株式の発行500,000株により、資本金が1,937,792千円、資本剰余金が1,937,792千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,244千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金3,094,323千円、資本剰余金3,094,323千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。